



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット 上場取引所 東  
 コード番号 9919 URL http://www.kansaisuper.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 中西 淳 TEL 072-772-0341  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月17日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	60,915	2.5	697	55.3	877	22.0	497	17.5
29年3月期第2四半期	59,458	△0.7	448	△10.8	719	△9.3	423	△19.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 546百万円 (49.4%) 29年3月期第2四半期 366百万円 (△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.82	—
29年3月期第2四半期	14.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	60,157	32,591	54.2
29年3月期	57,392	32,296	56.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 32,591百万円 29年3月期 32,296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,890	1.8	2,120	17.4	2,450	8.8	1,040	37.4	33.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	31,940,954株	29年3月期	31,940,954株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	496,722株	29年3月期	496,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	31,444,242株	29年3月期2Q	28,244,191株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

(参考)個別業績予想

平成30年3月期の個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,850	1.8	2,330	16.5	1,100	37.1	34.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業利益や雇用の拡大が続く中、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、米国の金融政策や欧州の政治情勢など海外経済の不確実性が懸念されるなど先行きは不透明な状況にあります。

小売業界におきましては、業態の垣根を越えた競争の激化に加え、賃金・社会保険料の上昇による人件費の増加や人材確保が困難な状況にあるなど業界を取り巻く環境は大きく変化をしております。

このような状況の中、当社グループは、当期に最終年度を迎える3ヵ年中期経営計画において「営業方針」「営業力強化行動施策」「教育方針」「経営管理方針」「新規事業戦略」「成長戦略」の基本方針と戦略に基づき、来店頻度を高めることを目的とした『お客様目線の店づくり』に継続して取り組んでまいりました。

「営業方針」では、お客様目線の品質・価格・買物環境を追求し、おいしくて価値のある「当社自慢の品」を中心とした価値訴求型商品の開発・育成に注力いたしました。具体的には、店内で販売している生鮮素材を調理した「フィッシュデリ」や「ミートデリ」など生鮮の惣菜化商品や即食商品、簡便商品を含め、健康に配慮した魅力ある価値訴求型商品のラインナップを増やしました。なお、6月から店頭への設置を開始した宅配便ロッカーは9月末現在で12店舗に設置を完了しました。お客様の利便性を考慮し、早期に30店舗程度での設置を予定しております。また、人材の定着化と長時間労働抑止を目的に健康経営に取り組み、「ノー残業デー」や「禁煙デー」に加えて有給休暇の取得促進や勤務間インターバル制度の導入推進など、「従業員目線の職場づくり」に取り組んでおります。

「営業力強化行動施策」では、社会の環境変化に対応するため、集荷能力向上プロジェクトや現場力向上定着化プロジェクトなど15のプロジェクトチームを立ち上げて取り組んでおります。

「教育方針」では積極的に自ら学ぶ意識のある社員・パート社員を対象とした国内外研修を実施するとともに、女性リーダー研修会の開催やプロジェクトチームへの参画など女性が活躍できる職場環境づくりに注力しております。

「経営管理方針」では、生産性の向上を目的に新たな機器を導入することで店舗の作業種類数削減を図るとともに、作業そのものを無くすためのシステム投入など、業務の効率化を推進しております。

「新規事業戦略」では、炊飯工場と青果プロセスセンターの設立に向けて取り組んでおります。なお、今後の当社グループの生産性向上と業容拡大に対応するため、商品の配送・店舗の安全管理を主な業務とする100%子会社である株式会社関西スーパー物流は、10月1日付で株式会社K S P (Kansai Super Premium)へ商号変更いたしました。また、移動スーパー(とくし丸)は、8月に兵庫県神戸市で2号車を、9月には大阪府守口市で3号車を開業いたしました。

「成長戦略」として、5月に八多店(神戸市北区)、7月に河内磐船店(大阪府交野市)を当社モデル店舗である「中央店」型店舗へ改装し、既存顧客の利便性を高めました。また、前期に資本業務提携したエイチ・ツー・オーリテイリング株式会社の「阪急の味」および「阪急ベーカリー」商品の販売を開始し、シナジー効果を高めました。

以上の結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の営業収益は609億15百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は6億97百万円(前年同期比55.3%増)、経常利益は8億77百万円(前年同期比22.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億97百万円(前年同期比17.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は177億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億44百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が26億1百万円増加した一方で、流動資産のその他(未収入金)が5億17百万円減少したことによるものであります。固定資産は424億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億20百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が8億94百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は601億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億64百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は176億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億23百万円増加いたしました。これは主に買掛金が37億53百万円増加したことによるものであります。固定負債は99億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円減少いたしました。これは主に長期借入金で9億46百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は275億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億69百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は325億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億95百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2億45百万円、その他有価証券評価差額金が80百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上記に記載の最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月27日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,127,420	11,728,980
売掛金	1,130,943	1,229,374
商品	2,868,056	2,723,974
貯蔵品	40,597	37,113
その他	2,638,166	2,029,773
流動資産合計	15,805,185	17,749,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,610,599	8,505,173
土地	20,908,854	20,908,854
その他(純額)	1,700,757	1,837,901
有形固定資産合計	30,220,211	31,251,929
無形固定資産	472,620	444,976
投資その他の資産		
差入保証金	5,611,085	5,454,273
退職給付に係る資産	1,069,354	1,086,954
その他	4,213,867	4,169,932
投資その他の資産合計	10,894,307	10,711,160
固定資産合計	41,587,139	42,408,067
資産合計	57,392,324	60,157,285

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,080,822	10,834,307
1年内返済予定の長期借入金	1,642,000	1,642,000
未払法人税等	669,441	307,384
賞与引当金	866,338	801,559
資産除去債務	4,000	4,000
その他	3,959,719	4,056,652
流動負債合計	14,222,322	17,645,903
固定負債		
長期借入金	6,844,000	5,898,000
退職給付に係る負債	809,337	816,161
資産除去債務	186,496	417,907
その他	3,033,493	2,787,624
固定負債合計	10,873,327	9,919,693
負債合計	25,095,649	27,565,597
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,862,933	9,862,933
資本剰余金	10,906,837	10,906,837
利益剰余金	11,313,009	11,558,657
自己株式	△308,060	△308,092
株主資本合計	31,774,720	32,020,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,736	381,260
退職給付に係る調整累計額	221,217	190,090
その他の包括利益累計額合計	521,954	571,350
純資産合計	32,296,674	32,591,688
負債純資産合計	57,392,324	60,157,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	58,455,523	59,906,954
売上原価	44,518,439	45,509,428
売上総利益	13,937,083	14,397,526
営業収入	1,002,526	1,008,580
営業総利益	14,939,610	15,406,106
販売費及び一般管理費	14,490,673	14,708,786
営業利益	448,936	697,320
営業外収益		
受取利息	7,376	3,999
受取配当金	21,285	24,401
持分法による投資利益	125,832	24,548
受取手数料	82,177	86,331
その他	100,422	82,161
営業外収益合計	337,095	221,442
営業外費用		
支払利息	40,708	31,159
その他	25,742	9,756
営業外費用合計	66,451	40,915
経常利益	719,580	877,847
特別損失		
固定資産除売却損	5,875	13,679
投資有価証券売却損	51,606	—
特別損失合計	57,481	13,679
税金等調整前四半期純利益	662,098	864,167
法人税、住民税及び事業税	158,282	188,537
法人税等調整額	80,530	178,149
法人税等合計	238,813	366,687
四半期純利益	423,285	497,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	423,285	497,480

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	423,285	497,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,115	77,530
退職給付に係る調整額	△51,833	△31,127
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,485	2,993
その他の包括利益合計	△57,202	49,396
四半期包括利益	366,082	546,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	366,082	546,877
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。